

佳作

やきゅうせん手になりたい

福岡県 北九州市立竹末小学校二年 二ノ宮 陽翔

ぼくのかなえたいゆめは、大たにしょうへいせん手のようなやきゅうせん手になることです。

はじめて大たにせん手のしあいを見たとき、ぼくは、そのかっこよさに目をうばわれました。ピッチャーとして百六十キロのはやいたまをなげるところや、バッターとして、たくさんのホームランをうつところは、本当にすごいと思います。

また、大たにせん手のすごいところは、子どもころに、二十四時間、そうじをいつもがんばっていたことや、読書もがんばっていたところ。やきゅういがいのところも、手をぬかずにやっているの、人としても、そんなけいできるそんざいです。

しかし、ゆめをかなえることは、かんたんなことではありません。

それでもぼくはあきらめません。なぜなら大たにせん手も、たくさんのれんしゅうとどりよくをして、

今のすごいプレーができるようになったと知ったからです。

どんなすごいせん手でも、コツコツとがんばることを大切にしていきます。それを知ったとき、ぼくもあきらめずに、コツコツとどりよくしようと思いましたが、

やきゅうせん手になったら、ホームランを五十れんばついいじょう打ちたいです。そして、オリンピックにさんかして、オリンピックで金メダルをもらいたいです。金メダルをかくとくしたら、またちようせんしたいです。

これからも、毎日のれんしゅうをだいにして、走る力、なげる力、打つ力、そして、人を思いやる心をそだてていきたいです。

ぼくは、いつか、プロやきゅうのマウンドに立ち、バッターボックスにも立ち、二刀りゅうのせん手になりたいです。

そして、大たにせん手のように、せかい中の人に、ゆめとかんどうをあたえられるせん手になるのが、ぼくのゆめです。